福井市休日急患センター電子カルテシステム等構築業務に係る

公募型プロポーザルの実施要領

1 事業概要

- (1) 目的 本業務は、本市の初期救急医療体制の根幹である福井市休日急患センターにおいて、電子カルテシステムを導入し、受診者への適切・正確な医療提供につなげ、医療安全管理の質の向上を目指すとともにシステム上で診療記録を管理し、会計・レセプト請求事務等にかかる出務者の負担軽減を図ることを目指す。また、WEB問診等のシステムを同時に導入することで、待ち時間の短縮につなげ、もって市民サービスの向上を目指すものである。
- (2) 業務名 福井市休日急患センター電子カルテシステム等構築業務
- (3) 業務内容 福井市休日急患センター電子カルテシステム等構築業務仕様書（以下「仕様書」という。）のとおり
- (4) 業務期間 契約締結日から令和8年3月31日まで。なお本契約完了後、電子カルテシステム等の保守運用について別途年度ごとに契約を行うものとする。

2 業務に要する費用（予定価格）

14,300,000円（消費税及び地方消費税を含む。）

※なお、参考見積書の金額が、業務に要する費用（予定価格）を超過した場合は失格とする。

また、本業務に関する協議や各種打ち合わせ、申請等に要する経費も業務に要する費用に含めること。ただし、保守に関する費用は含めない。

3 参加資格

プロポーザルに参加する者（提案者となろうとする者）は、次に掲げる事項をすべて満たす者でなければならない。

- (1) 福井市一般業務の委託に係る競争入札参加資格等に関する要綱（平成11年12月20日施行）の規定に基づき、福井市一般業務競争入札参加資格者名簿に登録されている、又は公表日から参加申込書の提出期限までの間に、福井市一般業務競争入札参加資格審査申請書を提出済みであること。なお、申請書を提出中の場合、資格審査において認定されなかった時点で本件に関する参加資格を喪失する。
- (2) 公表日から受託候補者特定の日までにおいて、福井市物品調達等契約に係る指名停止等措置要領の規定に基づく指名停止又は指名除外を受けている者でないこと。
- (3) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4第1項の規定に該当しない者であること。
- (4) 破産法（平成16年法律第75号）の規定により破産の申し立てがなされていないこと。
- (5) 会社更生法（平成14年法律第154号）に基づく更生手続開始の申し立てをしている者（更生

- 手続開始の決定を受けている者を除く。)又は民事再生法(平成11年法律第225号)に基づく再生手続開始の申立てをしている者(再生手続開始の決定を受けている者を除く。)でないこと。
- (6) 役員(役員として登記又は届出はされていないが事実上経営に参画している者を含む。以下この号において同じ。)が暴力団員(暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下この号において同じ。)でないこと又は役員が暴力団(同条第2号に規定する暴力団をいう。)若しくは暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有していると認められる者でないこと。
- (7) 参加申込をする時点において、当該プロポーザルに参加しようとする他の者との間に、次のいずれかに該当する資本的関係又は人的関係がない者であること。
- ①親会社(会社法(平成17年法律第86号)第2条第4号の親会社をいう。以下同じ。)と子会社(会社法第2条第3号の子会社をいう。以下同じ。)の関係(個人事業主又は会社の役員が他の会社の議決権総数の過半数を所有する場合における、当該個人事業者又は当該役員に係る会社との関係を含む。)
- ②親会社(個人事業主又は会社の役員が議決権総数の過半数を所有する場合における、当該個人事業者又は当該役員に係る会社を含む。)を同じくする子会社同士の関係
- ③一方の会社の役員(個人事業主を含む。)が他方の会社の役員を現に兼ねている関係
- ④一方の会社の役員(個人事業主を含む。)が他方の会社の管財人(会社更生法第67条第1項又は民事再生法第64条第2項の規定により選任された管財人をいう。)を現に兼ねている関係
- (8) 当該プロポーザルにおいて、事業協同組合(中小企業等協同組合法(昭和24年法律第181号)第3条又は中小企業団体の組織に関する法律(昭和32年法律第185号)第3条に規定する組合又は団体をいう。)として参加する場合は、その組合員又は会員ではないこと。
- (9) 市との密接な連携を図るため、市内に本店、支店又は営業所を有する事業者であること。
- (10) 平成31年4月1日以後、他の公的団体等で医療分野に関するシステム導入業務を履行した実績が1件以上あること。

4 質問の受付及び回答

本プロポーザルへの質問がある場合には、次のとおりとする。

(1) 質問期限及び回答期日

① 提出期限：令和7年5月16日(金)正午(必着)

② 回答期日：令和7年5月21日(水)までに随時回答

(2) 提出方法：表題を『「福井市休日急患センター電子カルテシステム等構築業務」に関する質問(事業者名)』とし、質問票(様式1)を添付のうえ、地域保健課まで電子メールにて送付すること。

※上記以外の方法で提出された質問に対しては回答しない。

(3) 提出先：福井市 福祉健康部 保健衛生局 福井市保健所 地域保健課

E-mail：h-kikaku@city.fukui.lg.jp

(4) 回答方法：電子メールで回答後、市ホームページに掲載

5 参加申込書の提出

プロポーザルに参加する者は、次によりプロポーザル参加申込書を提出するものとする。

(1) 提出書類：①プロポーザル参加申込書（様式2）

②平成31年4月1日以後、他の公的団体等で医療分野に関するシステム導入業務を履行した実績を1件以上有したことを示す資料（様式3）

③福井市一般業務競争入札参加資格審査申請書を提出したことが分かる書類

※参加申込書の提出時点で福井市一般業務競争入札参加資格者名簿に登録されていない場合のみ提出。

④誓約書（様式4）

(2) 提出部数：1部

(3) 提出方法：持参又は郵送

※持参の場合は、平日の9時から17時までの間に提出すること。

※郵送の場合は、書留郵便等の配達記録が残るものに限る。

(4) 提出期限：令和7年5月23日（金）17時00分（必着）

(5) 提出先：福井市 福祉健康部 保健衛生局 福井市保健所 地域保健課

〒918-8004 福井市西木田2丁目8番8号 市保健所2階

6 参加資格の審査結果通知

参加申込書を提出した者については参加資格要件を審査し、その結果（参加資格の有無）を令和7年5月30日（金）に電子メール等で連絡する。

7 企画提案書の提出

参加資格要件を満たした者は、次の(1)の内容を企画提案書にまとめ、期限内に提出するものとする。企画提案は、1者1提案とする。なお、企画提案書期限までに提出がない場合は、参加を辞退したものとみなす。

(1) 提出書類：①企画提案書（様式5）

②企画提案書（様式任意）

- ・仕様書に示す業務内容を踏まえ、企画提案書を提出すること。企画提案書には、実施内容、スケジュール、実施体制等を記載すること。
- ・用紙はA4又はA3版とすること。印刷の色は、カラー、白黒を問わない。
- ・記載事項の順序は、仕様書「3 業務内容」に記載の項目順とする。
- ・実施体制及び業務実施のための適切な人員配置並びに役割分担を明記すること。
- ・提案内容について、具体的なスケジュールを示すこと。
- ・再委託等の予定があれば記載すること。業務の全部を一括して、又は主たる部分を第三者に委任し、又は請け負わせてはならないことを念頭に、委託契約締結時に再委託承認申請書を提出すること。
- ・仕様書に示す業務目的について、最大限の効果をもたらすことのできるよう、創意工夫して提案すること。

③見積書（様式任意）

- ・業務履行に要する経費についての見積額を作業項目別に記載すること。
- ・積算にあたっては、内訳（積算根拠）を明らかにすること。
- ・選定された事業者との協議においては、必要に応じて作業項目別金額の調整を行うものとする。
- ・予定価格には保守・運用に要する費用は含めないが、各システムの保守に関する見積書（月額表記）を提出すること。なお、保守運用に関する経費は、構築完了後5年間月々同額を支払うことを前提とすること。ただし、予算の減額又は廃止等による金額の変更等がありうるものとする。

(2)提出部数：各10部（企画提案書（様式5）は1部のみ提出。）及び上記①②③の電子データを保存したCD-ROM等外部記憶媒体 1式

※電子データには、代表者印及び会社印は不要とする。

(3)提出方法：持参又は郵送

※持参の場合は、平日の9時から17時までの間に提出すること。

※郵送の場合は、書留郵便等の配達記録が残るものに限る。

(4)提出期限：令和7年6月6日（金）17時00分（必着）

(5)提出先：福井市 福祉健康部 保健衛生局 福井市保健所 地域保健課

〒918-8004 福井市西木田2丁目8番8号 市保健所2階

8 審査方法等

企画提案書等の審査は、別に設置する「審査委員会」において、書類審査及び企画提案書等を提出した者（以下「提案者」という。）によるプレゼンテーション等を実施し、総合的に審査した上で受託候補者を選定する。

なお、提案者が1者であっても、審査委員会において業務を履行できると認められる場合に限り、提案者を受託候補者とする。

(1)第1次審査（書類審査）

①実施方法 提出された企画提案書を、8(3)で示す審査基準に基づいて審査し、高い評価を得た提案者を選考する。

②留意事項 プロポーザルの提案者が少数（3者程度）である場合は第1次審査を省略できるものとする。

(2)第2次審査（プレゼンテーション及びヒアリングによる最終審査）

①日 時 令和7年6月25日（水）14時00分（予定） ※詳細は個別に案内する。

②場 所 福井市保健所 3階 会議室
福井市西木田2丁目8番8号

③実施方法 第1次審査により選考された者に対して、企画提案についてのプレゼンテーション及びヒアリングを実施し、8(3)で示す審査基準に基づいて再評価し、最も優れている受託候補者を選定する。

・持ち時間は、各提案者40分（説明時間30分、質疑応答10分）以内とする。

- ・プレゼンテーションの順番は、企画提案書の受付順とする。
- ・内容は、企画提案書に沿ったものとする。
- ・出席者は、5名以内とする。
- ・業務の企画運営に携わる担当者が説明を行うこと。
- ・審査委員会当日の企画提案書等の差替え及び追加資料の配布等は認めない。
※プレゼンテーションで使用するスクリーン、プロジェクターは市で準備する。

(3) 評価項目等及び配点について

- ・別紙「福井市休日急患センター電子カルテシステム等構築業務公募型プロポーザル審査基準」のとおりとする。
- ・プレゼンテーションに参加しなかった場合、又は、やむを得ないと判断される正当な事由なく指定時刻に遅れた場合は、失格とする。

(4) 審査結果の通知

① 第1次審査

提案者全者に対し、令和7年6月16日（月）（予定）以降に電子メール及び書面で通知する。なお、選考された者のみ、第2次審査を実施する旨を併せて通知する。

② 第2次審査

参加者全者に対し、令和7年6月30日（月）（予定）以降に電子メール及び書面で通知する。また、市ホームページにも掲載する。

9 スケジュール

公表	令和7年5月 8日（木）
質問提出期限	令和7年5月16日（金）正午必着
質問回答期限	令和7年5月21日（水）
参加申込書の提出期限	令和7年5月23日（金）17時00分必着
参加資格審査の結果通知	令和7年5月30日（金）
企画提案書の提出期限	令和7年6月 6日（金）17時00分必着
第1次審査（書類審査）	令和7年6月11日（水）予定
第1次審査結果の通知	令和7年6月16日（月）予定
第2次審査（プレゼンテーション等）	令和7年6月25日（水）19時00分予定
選定結果の通知	令和7年6月30日（月）予定
契約締結日	令和7年7月10日（木）予定

10 失格事項

次のいずれかに該当した場合は、その者を失格とする。

- (1) 参加資格要件を満たしていない場合
- (2) 提出書類に虚偽の記載があった場合
- (3) 実施要領等で示された、提出期日、提出場所、提出方法、書類作成上の留意事項等の条件に適合しない書類の提出があった場合

- (4)審査結果に影響を与えるような不誠実な行為を行った場合
- (5)参考見積書の金額が、予定価格を超過した場合
- (6)契約の締結期限までに福井市一般業務競争入札参加資格者名簿への登録が確認できない場合

1.1 契約の締結等

市は、受託候補者として選定された者と企画提案書等の内容を元に、業務履行に必要な具体的な協議を行った上で、随意契約による委託契約を締結する。なお、その際には、受託候補者は改めて見積書を提出するものとする。市が選定した受託候補者との協議において、両者が合意に至らなかった場合には、次順位候補者との協議を行うものとする。

また、次の場合には、市は契約締結を取り消す場合がある。

- (1)受託候補者として選定されたものが、契約の締結に応じないとき
- (2)財務状況の悪化等により業務の履行が確実にない恐れがあるとき
- (3)提出書類に、故意に虚偽の記載をした場合
- (4)その他、著しく社会的信用を損なう行為等により、業務が不可能又は著しく不適當となるような事情が生じた場合

1.2 その他留意事項

- (1) 提出期限以降における書類の差し替え及び再提出は認めない。
- (2) 提出書類に虚偽の記載をした場合は、提出書類を無効とする。
- (3) 提出書類は返却しない。
- (4) 提出書類は本プロポーザルの実施以外の目的では使用しない。
- (5) 書類の作成、提出及びその説明等の企画提案に係る費用は、すべて提案者の負担とする。
- (6) 提案内容に含まれる特許権など法令に基づいて保護される第三者の権利の対象となっているものを使用した結果生じた責任は、原則として提案者が負う。
- (7) 企画提案書は、業務の内容等を踏まえた上で、提案の特徴を明確にするとともに、業務を実現するために可能な限り具体的な内容を記載すること。
- (8) 企画提案の内容については、受託候補者決定後に当課と協議の上、変更して実施することがある。
- (9) 福井市情報公開条例に基づく開示請求があった場合は、原則開示の対象となる。ただし、提案者が事業を営む上で、正当な利益を害すると認められる情報は不開示となる場合がある。なお、本プロポーザルの受託候補者特定前において、決定に影響が出るおそれがある情報については決定後の開示とする。
また、当該プロポーザル実施に関する情報については随時、市ホームページに掲載するものとし、審査結果には、提案事業者数及び受託候補者を掲載する。
- (10) 受注者は、業務履行上知り得た情報を他に漏らしてはならない。
- (11) その他、不明な点については、当課に照会すること。

1.3 提出・問い合わせ先

福井市 福祉健康部 保健衛生局 福井市保健所 地域保健課 (担当 木内)

〒918-8004 福井市西木田2丁目8番8号 市保健所2階

TEL 0776-33-5182 FAX 0776-33-5473

E-mail h-kikaku@city.fukui.lg.jp

福井市休日急患センター電子カルテシステム等構築業務 公募型プロポーザル審査基準

1 基本的な考え方

提出された企画提案書を基に第1次（書類）審査を行い高い評価を得た提案者を3者程度選考する。さらに、審査委員会において、第1次（書類）審査により選考されたものについて、企画提案書及びプレゼンテーション、質疑応答の内容を総合的に審査し、最も高い評価を得た提案者を受託候補者として選定する。

なお、提案者が1者であっても、審査委員会において受託業務を履行できると認められる場合は、提案者を受託候補者として選定する。

2 審査の方法

- (1) 選定は「3 審査基準」に基づき行う。
- (2) 全ての審査が終了した後、各審査委員の審査結果を集計し、受託候補者を決定する。
- (3) 同点の場合は、審査委員会の協議により、受託候補者を決定する。

3 審査基準

区分	評価のポイント
事業者 評価 (15点)	受託実績は十分か。
	担当者の業務実績、知識及び技術は十分か。また、担当者への質問に対する回答は的確か。
	業務への取り組みに積極的であり、意欲表明があるか。
業務内容 評価 (10点)	業務委託による効果・メリットの分析は適切か。
	業務を行うにあたり、手法・スケジュールが明らかになっているか。
システム 構築 (30点)	視覚的に見やすく、操作性が分かりやすいシステムとなっているか。
	待ち時間短縮効果の最大化が図られており、市民サービス向上につながる事が期待できるか。
	業務効率の向上に資する工夫や提案があり、実際に業務効率の向上が期待できるか。
	今後見込まれる制度改正や内容変更等に柔軟に対応できるか。
	適切なバックアップ体制を確保し、障害時・災害時でも早急に復旧が可能なシステム構成であるか。

運用体制 (20点)	地域企業人材や福井市内の拠点の活用等が具体的に示されているか。	
	問い合わせ等に対する対応時間や対応内容は適切か。また突発的な事態に対し、柔軟に対応できる体制になっているか。	
	情報セキュリティへの対処は考えられているか。	
見積価格 (25点)	構築等に係る 経費について。	【評価点数=5点×最も安価な業者の見積金額／当該事業者の見積金額】
		提案内容と構築等経費を勘案し、コストパフォーマンスの高い提案となっているか。
	運用保守等に係る経費について。	【評価点数=5点×最も安価な業者の見積金額／当該事業者の見積金額】
		提案内容と運用保守等経費を勘案し、コストパフォーマンスの高い提案となっているか。